

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度 あま市防災会議
開 催 日 時	令和7年2月19日（水） 午後2時30分から午後3時30分まで
開 催 場 所	あま市役所 3階 災害対策本部室2
議 題	あま市地域防災計画（案）について
会 議 資 料	あま市防災会議次第 あま市地域防災計画（案）の修正要旨 あま市地域防災計画（案）
公開・非公開の別 （非公開の場合はその理由）	公開
傍 聴 人 の 数 （公開した場合）	0人
出 席 委 員	村上浩司、伊藤義剛、伊藤克仁、佐野誠一、齋藤康仁、 倉田裕一、河竹正幸、加藤俊彦、加藤俊一、服部章平、横井寿、 渡邊剛、井村なを子、三輪啓子、宮島敏明、大津竜二、堀義和、 服部吉貴、小山真紀、早船善恵
欠 席 委 員	和田亮一、井上明和、内田敦司、戸澤剛
事 務 局	（市長公室） 服部哲也 （危機管理課） 平野 誠、佐藤正志、宮地雄大、鯉沼純一郎

会議録（要旨）

- 1 会長あいさつ
- 2 委員の委嘱について
- 3 あま市地域防災計画（案）について

●事務局

あま市地域防災計画（案）の修正要旨を説明

【質疑応答】

○委員

膨大な資料の中で、文言の言い回し、位置付けについて説明をお願いしたい。

●事務局

努める、図る等の表現については、それぞれの項目について行っていくことであります。

○委員

記述をしておくことで、責任感が生じ新たに行動規範が生まれることだと思います。

○委員

今回の修正に至った経緯を教えてください。あま市として強く押し出すと支えていられるのかをお聞きしたい。

●事務局

今回の改正の中で、ヘリコプターの活用というのは能登半島地震では道路が寸断されてしまい物資の供給ができなかったということがありました。その中でヘリコプターを活用することで何処からでも物資を運ぶことができ、効果的であるということが活用されました。このことから空輸の有効性が国からも指摘され、愛知県の改正を基に市も表記を記載したものでございます。

2点目の災害中間支援組織に係る修正につきましては、ボランティアセンターを運営、作るにあたり社会福祉協議会との連携が重要であり大切であるということの内容を細かく修正させていただいたものであります。

○委員

文面にある防災ボランティアセンターは災害ボランティアセンターではないのか。

●事務局

確認させていただき、後ほど回答させていただきます。

※回答：災害ボランティアセンターの記載間違いであったことを説明済

●事務局

災害ケースマネジメントについてですが、連携が想定される機関との平時からの顔の見える関係を築いていくことで災害時に配慮者の方々にも組織を作って支えていくことを記載させていただいたことになります。

○委員

ありがとうございました。

【計画の修正について】

委員全員の賛成により、原案のとおり決定

4 その他

【質問事項】

質問はなし